

町長と開発公社理事長兼務で
職責を全うできるか
公社の基盤固めができるところまで
兼務でがんばりたい



小林 光 議員

質問：理事長兼務で問題はないか。

答弁：法的には問題ないと思います。上下分離方式でパノラマの施設を買い取った時点から町が健全な運営をする責任があり、町長が理事長を兼務しても利益が対立することはないと考えます。

質問：理事長としての考えは。

答弁：今までの体制では、金融機関及び町への返済ができないという危機感を持っていきます。

経営マネージメントをしつかりさせ、職員をや

る気・活力・こう着した組織体制などを大幅に改善する必要がありますと考えています。

また、川崎・多摩の施設へ勤務する職員も、全国の大手業者との入札に勝てる力をつける必要があると考えます。

質問：兼務で両者の職責を全うできるか。

答弁：開発公社の基盤固めができるところまで、理事長兼務でがんばりたいと思います。

□その他の質問

*土地開発公社と平岡島帽子住宅用地について



織田 昭雄 議員

子どもたちの交通安全、犯罪対策は

点検やパトロール、訓練の実施で対応します

質問：通学路の安全パトロールの現状と危険箇所は。また、子どもを巻き込む犯罪への対応策は。

答弁：登下校時の安全対策は、PTA・学校職員・沿道地域の皆さんによる見守りを実施しています。危険箇所については、職員や育成会で見回り、要望箇所を改修します。防犯対策については、

不審者の告知放送・集団下校・防犯ブザーの携帯と使用訓練、「子どもを守る安心の家」の協力依頼・不審者情報のメール発信・町公用車による青色パトロール等を行っています。

質問：結婚相談所や定住促進施策は、専従係を配置すべきでは。

答弁：町民全体が協力し合うことが大切で、更に充実を図っていききたい。課や係にする考えはありません。

□その他の質問

*第4次総合計画について

*火災報知器の町内普及について

8人の議員がただしました